

親と子 健やかに生活できる町へ

山田町子育て世代包括支援センター

核家族・共働き世帯が増え、子育て世代のお母さん、お父さんたちは、子育てに、仕事にと毎日奮闘しています。「子どもは順調に育っているのだろうか」「熱が出たが、病院に連れて行ったほうがよいのだろうか」など、迷ったり、悩んだりすることも多いはずです。そこで、町では、今年度から「山田町子育て世代包括支援センター」を設置、妊娠期から子育て期にわたり、切れ目のない支援をワンストップで行っています。広報では、今号よりシリーズ「親と子の笑顔のために」と題して、支援センターの取り組みについて紹介していきます。今号は、支援センター設置の経緯や事業概要について紹介します。

◎子育て世代に切れ目のない支援を

「赤ちゃんがいることで、家庭が明るくなるんです」と話すのは、佐々木直美さん（豊間根・下写真）。「ことし、新しい家族の一員となる暉ちゃんを出産し、現在育児に奮闘中です。一方で、「二人目の時は、どうしていいか分からず不安でいっぱいでした」と、育児の大変さも話します。

世界人口、約70億人。その中でたった二人が出会い、赤ちゃんは誕生します。家族が増えることはよろこびでいっぱい。

かし、育児には新たな命を育む楽しさがある反面、大変な面もあります。授乳、おむつ交換、寝かしつけなど、24時間が、赤ちゃん中心の生活へと変わるのです。佐々木さんは、「今の育児に必要なことは、周囲からの支援なのでは」と話します。

◎子育て世代包括支援センターの設置

現在、全国的には、育児に行き詰まり、児童を虐待してしまつたというニュースが社会問題になり、子育て中の世代への支援に重点を置かれてきています。

そのような中、国では、地域のつなごりの希薄化等により、妊産婦などの孤立感や負担感が高まっていることから、妊娠期から子育て期までの切れ目のない支援を提供する市町村「子育て世代包括支援センター」の全国展開を目指しています。

そこで、町では今年度から山田町子育て世代包括支援センターを保健センターに設置し、事業概要である『山田版ネウボラ』（左ページ）を設定しました。妊娠前から子どももの就学までを、町の保健師や栄養士、助産師の専門スタッフがよりよい、あなたの子育てを切れ目なく全力でサポートしていきます。

◆◆◆

今号では、支援センター設置の経緯と、事業の概要を紹介しました。次回は、妊娠前、妊娠期における支援センターの具体的な取り組みについてお伝えします。



山田町子育て世代包括支援センター事業紹介

～山田版ネウボラ～

ネウボラとは、フィンランド語で『相談の場』という意味です。支援センターは妊娠期や子育て中の人々が気軽に利用できる子育て支援の拠点を目指します。ここでは、主な事業について紹介します。

妊娠前



♥ 助産師なんでも相談

妊婦、産婦の心身の変化や育児女性の生涯にわたる健康について相談を受け付けています。また、不妊に関する相談や受胎指導、特定不妊治療費助成事業の案内をしています。

♥ 母子健康手帳交付と健康相談

妊婦一般健康診査受診票、子宮頸がん検診受診票、妊婦歯科健康診査受診票の交付、助産師・保健師による健康相談、保健指導等を行います。

妊娠期



♥ ハロー赤ちゃん教室

妊娠中の過ごし方、マタニティーエクササイズ、栄養指導、お産の経過、母乳育児、赤ちゃんのケア等について一緒に学びます。

♥ 出生届出の際、乳児一般健康診査受診票の交付、予防接種等案内

♥ 乳幼児家庭訪問

お子さんの健やかな成長を応援するため家庭訪問を実施しています。

♥ 乳幼児健康診査（3か月、6か月、9か月、1歳6か月、3歳児）

産後



♥ 4歳半健康相談

4歳7か月以上5歳未満の幼児を対象に行っている健康相談です。身体測定や問診、言葉の検査で心身の成長を確認するほか、保健・栄養指導を実施しています。

♥ 発達相談

♥ ひよこ教室（療育教室）

親子遊びやミニ学習会等を通じて子どもの育ちを応援します。

♥ ペアレントトレーニング

しつけの勉強会を開催しています。

♥ リフレッシュママクラス

♥ 育児講話

♥ 思春期講話

命の大切さやライフプラン等、社会で自立した生活を応援するため中学校、高校で生徒に講話を行っています。

育児期



就学

その他子どもの病気や障がい、心身の成長に関する相談、子育て支援サービスの紹介、保育園・幼稚園・子育てサークルなどの紹介をしています。

◆問い合わせ 町健康子ども課子育て世代包括支援センター ☎82-3111